# みんなでつくる地域の未来

# 住民自治活動発表会&学習会

### 「羽咋っ子の未来」は「地域の未来」

## プログラム

日時:令和7年11月24日(月祝)13:00~16:30

会場:LAKUNAはくい 4階ホール

子どもたちは、地域住民との様々な触れあい関わり合う機会を通じて、たくましく豊かな心が育まれ、地域への愛着を深めていきます。その子どもたちが、様々な状況により羽咋市を離れることになっても、「関係人口= ふるさと住民」として、ふるさと羽咋市に関わり続けてくれることが、未来の地域づくりに繋がります。そして、年を重ねても、いつでも帰ることができるふるさととして、いつまでも存在し続けてほしいと思います。

羽咋市内では、子どもたちと関わり、つながる様々な住民活動が進められています。この度の学習会では、子どもたちと地域住民とのつながりを通して、「子どもの未来」と「地域の未来」を考えます。

第

1

部

第

2 部

主催

協力

**●** 13:00~13:10

## 住民自治活動発表

■ ゲスト参加 未来を担う中学生が考える地域づくり発表

- 13:10~13:30
- 羽咋中学生ー私の提言〜関係人口を活用して羽咋市を活性化〜 ● 邑知中学生ー妙成寺〜国宝化に向けて〜
  - ・感想や質問を付箋紙に記載
- 子どもたちと地域住民とのつながり(発表)

**1**3:30~14:00

- ●余喜地区 学校も保育所もなくなった地域に子どもたちの声を一上田裕美子さん
- ●千路町 獅子舞の練習と子どもたちのつながり一千路町獅子舞太鼓保存会
- ●千石町 地域おこし協力隊と高校生のつながり一大竹康範さん ・感想や質問を付箋紙に記載
- 子どもたちと住民とのつながり(紹介)

■ 14:00~14::20

- ●市民活動支援センター登録団体の子どもたちのつながり活動紹介
- 家庭教育推進協議会の活動紹介
- ●「捌咋市こども計画」と地域活動等とのつながり ・感想を付箋紙に記載
- 住民自治活動発表を終えて

**1**4:20~15:15

- ①付せん紙に記載された感想の紹介と質問に答えて②杉岡秀紀講師から 発表内容についてコメント
- ②杉岡秀紀講師から、発表内容についてコメント

一 休憩(10分間) -

### みんなでつくる地域の未来

■ 15:25~15:55

■ 講演:子どもたちの未来と地域の未来を考える

講師:杉岡秀紀さん

■ 子どもたちと地域住民とのつながりと地域の未来について考えよう!

おわりに(閉会のあいさつ)

15:55~16:15

「わいわい・がやがや」話しましょう・

**●** 16:15~16:25

16:25~16:30

学習会のまとめ

羽咋市 学びあい5色の絵の具

羽咋市教育委員会 羽咋市家庭教育推進協議会 羽咋市社会福祉協議会 羽咋市市民活動支援センター

羽咋市町会長連絡協議会 羽咋市公民館連絡協議会

※学びあい5色の絵の具とは-行政と住民との間に立ち地域づくりを進めるために必要な学びの場を提供している民間中間支援団体。

#### 講師紹介

#### 杉 岡 秀 紀 (すぎおか ひでのり) さん 1980年生



#### 福知山公立大学地域経営学部准教授

専門:自治体政策·地域政策·地方自治

自治体学会評議員·理事·企画部会長、日本協働政策学会理事、産学連携学会理事、京都府 丹後子育ちサポート協議会顧問、京都府·兵庫県·滋賀県等の自治体の公職多数。

同志社大学大学院修了後、内閣官房行政改革推進本部事務局、同志社大学講師·京都府立大学講師等を経て2016年から現職。京都府青少年すこやかフォーラム、丹後 PTA 指導者研修会など子どもと地域のつながり講演多数 著書:「地域創生の最前線(編著)」「自治·分権と地域行政(分担執筆)」「公務員試験制度の新潮流(分担執筆)」など多数。現在、日刊建設工業新聞等で毎月連載中

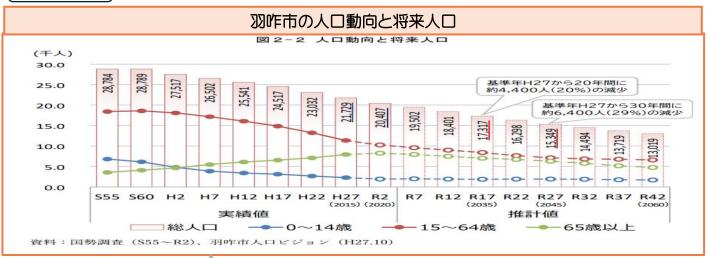
#### 自治活動発表内容

子どもたちと地域住民のつながり活動紹介

| 地区   | ●余喜地区-上田裕美子さん    | ●千路町-獅子舞太鼓保存会   | ●千石町-大竹康範さん         |
|------|------------------|-----------------|---------------------|
| 町名   | 一家各地区 工田柏美丁巴加    |                 |                     |
| 活動内容 | 学校も保育所もなくなった地域   | 獅子舞の練習と         | 地域おこし協力隊員と          |
|      | に子どもたちの声を        | 子どもたちのつながり      | 高校生とのつながり           |
|      | 2024年に小学校が統合され、  | 獅子舞や太鼓を指導するのは、千 | 空き家を改修した民泊や得意な音     |
|      | 地震により保育所もなくなっ    | 路町住民であった大学生や社会  | 楽活動をベースに地域おこしをする    |
|      | た。その余喜地区に、子どもの   | 人が多い。この指導方法は長年の | ために 2024 年羽咋市に赴任。空き |
|      | 声を残すために「よきっこ広場」  | 慣習である。大阪万博、百万石ま | 家の改修は羽咋工業高校生と共に     |
|      | を毎月1回開催。食育・防災・絵本 | つりなどにも出演依頼があり、指 | 進め、バンド経験を生かして羽咋高    |
|      | の読み聞かせ等を、三世代(高   | 導者と子どもたちのつながりもよ | 校軽音楽部を指導して、市内 2 校の  |
|      | 齢者、子どもの保護者)で実施。  | り深くなっている。       | 高校生とのつながりを深めている。    |

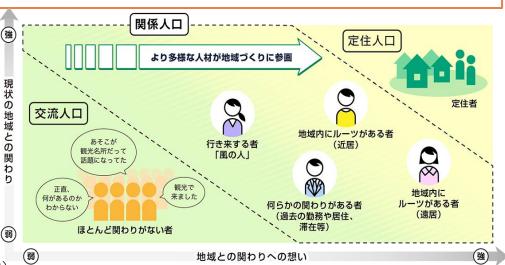
- ●市民活動支援センター登録団体で、子どもたちとのつながりがある市民活動を紹介します。
- ●家庭教育推進協議会は、市民憲章推進活動の一環として、乳幼児から高校生までを対象にして、子どもたちが健 やかに育ち、保護者も楽しく子育て出来るように 45 年前に設立された団体です。その活動内容を紹介します。
- ●こどもまんなか社会の実現に向けて策定された「羽咋市こども計画」を紹介します。

#### 参考資料 1



#### 関係人口とは、

その地域に親族が住んでいる人・仕事で訪れている人・ 短期滞在している人など、 なんらかの理由で継続的ま たは複数回訪れたことがあ る人を総括して「地域との 関りがある関係が強い人= 関係人口」とみなしていま す。関係人口は、地域の活力 を維持・発展させていくため に必要不可欠。(総務省)



(資料学びあい5色の絵の具作成)